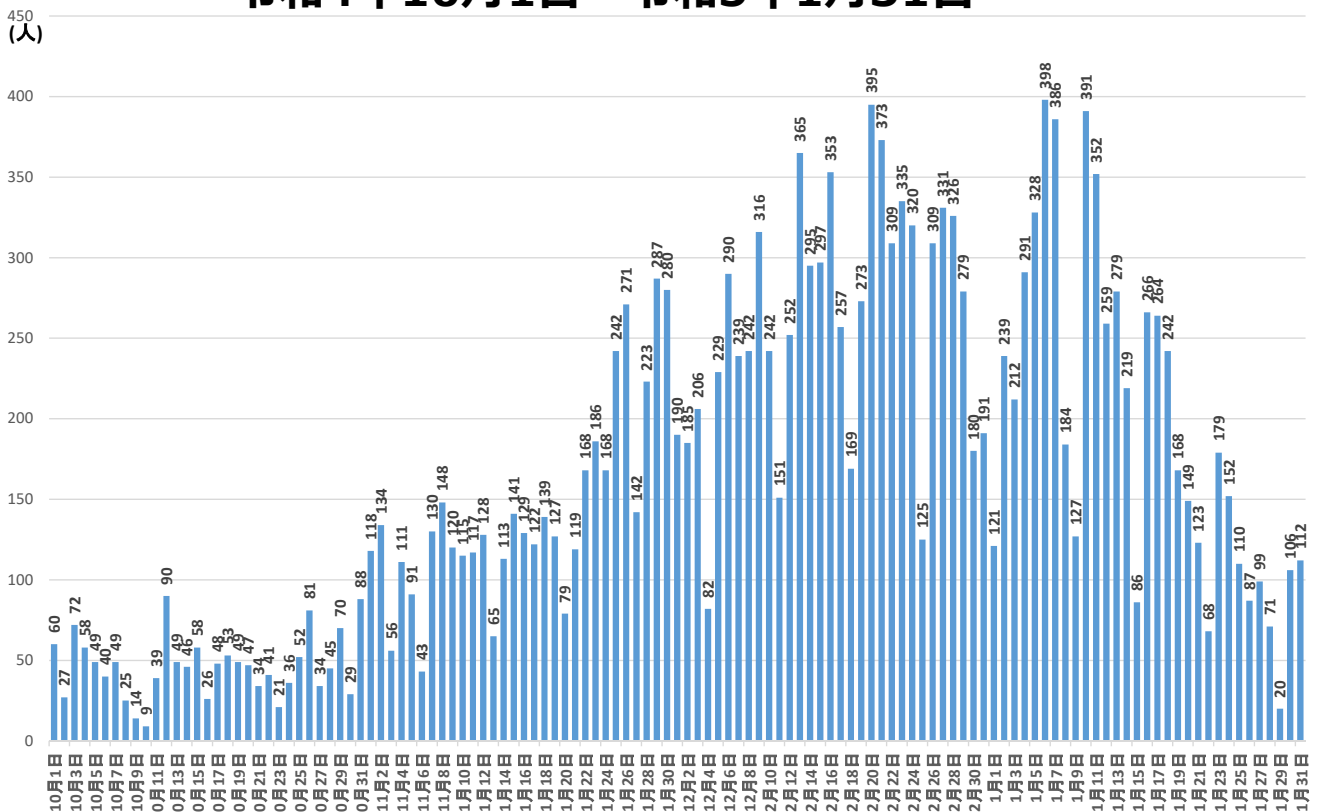


# 新型コロナウイルス感染症(第8波)にかかる 東近江保健所の対応と感染動向等について

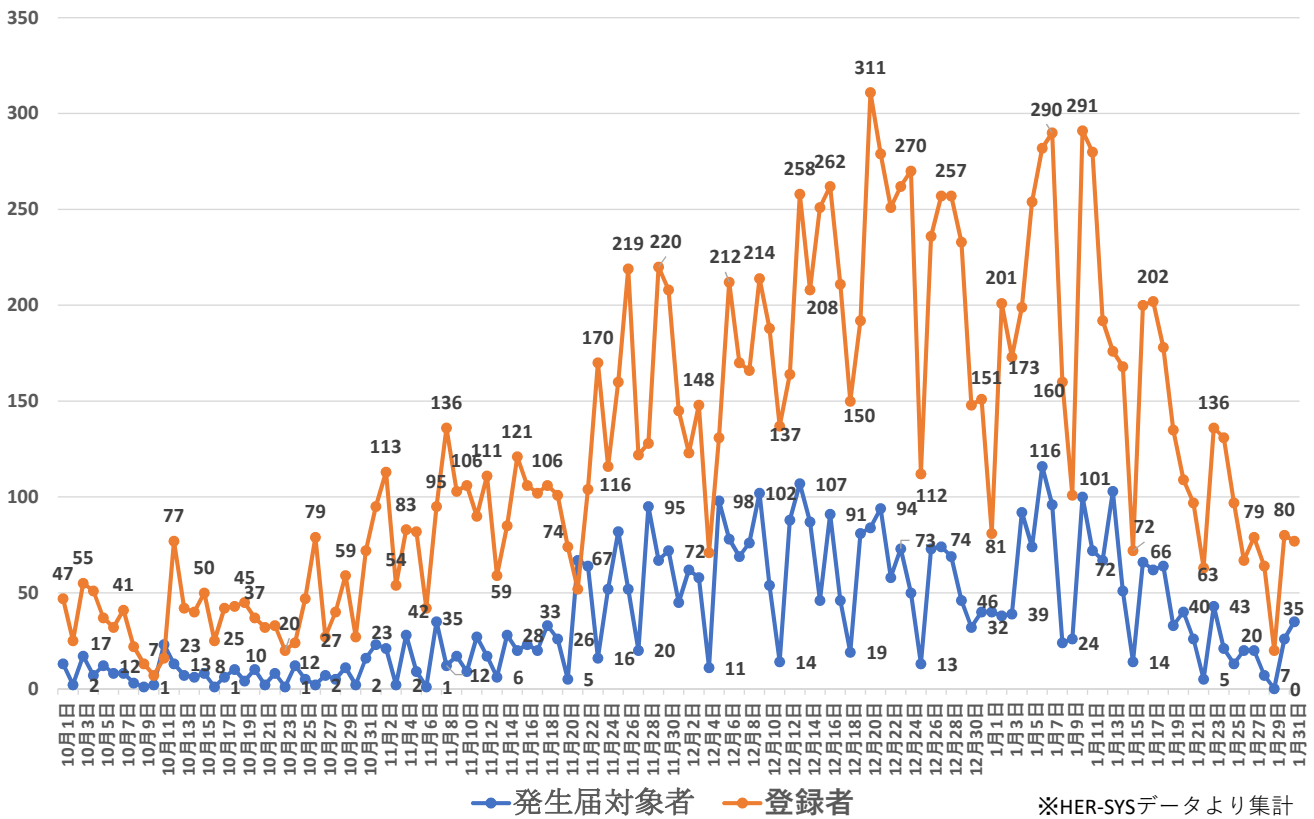
## 東近江保健所

1-1 管内の陽性者数の推移（第8波）累計 19,945人  
令和4年10月1日～令和5年1月31日



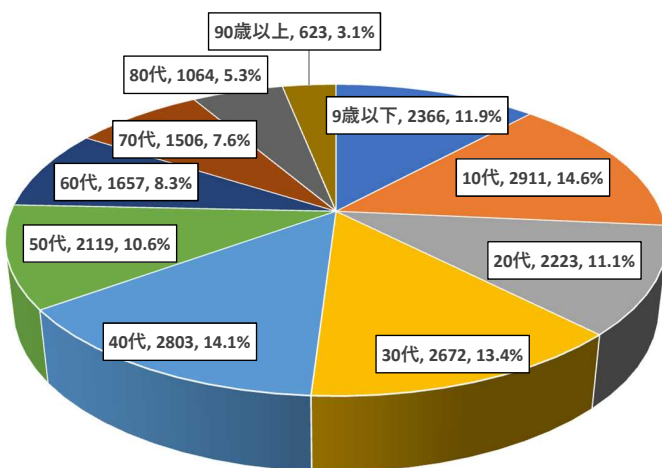
※HER-SYSデータより集計

# 1-2 管内の陽性者数の推移（第8波）発生届対象者・登録者別 累計 19,945人 令和4年10月1日～令和5年1月31日



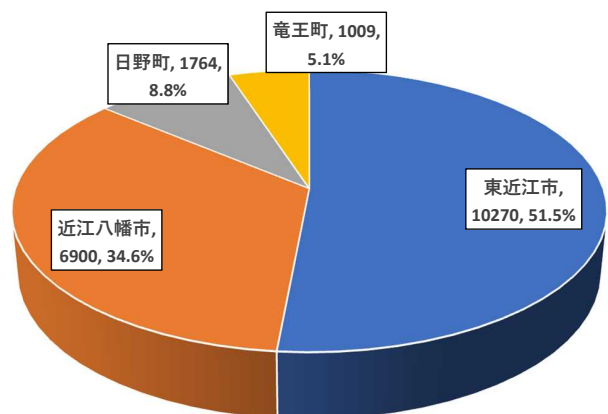
## 2. 管内の患者発生状況 (第8波 累計 19,945人 R4.10.1～R5.1.31)

### 1) 年代別発生状況



※HER-SYSデータより集計

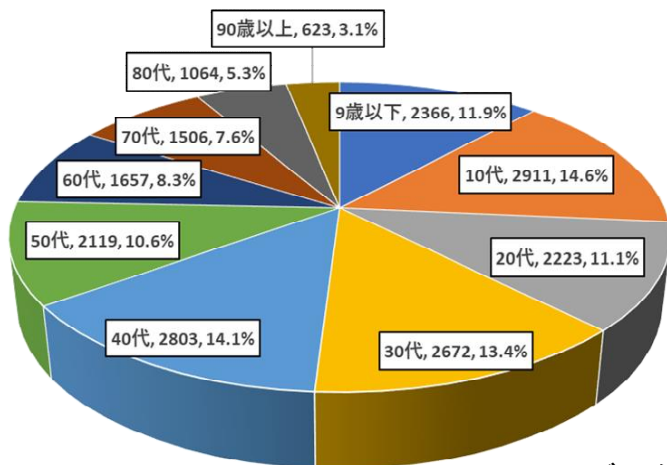
### 2) 市町別発生状況



※発生届データより集計

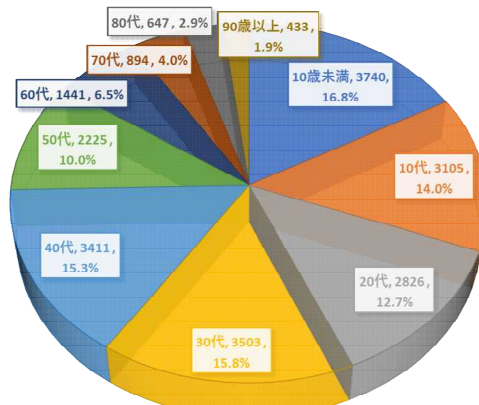
### 3) 年代別発生状況第7波との第8波の比較

(1) 第8波  
(R4.10.1~R5.1.31)



※HER-SYSデータより集計

(2) 第7波  
(R4.7.1~R4.9.25)

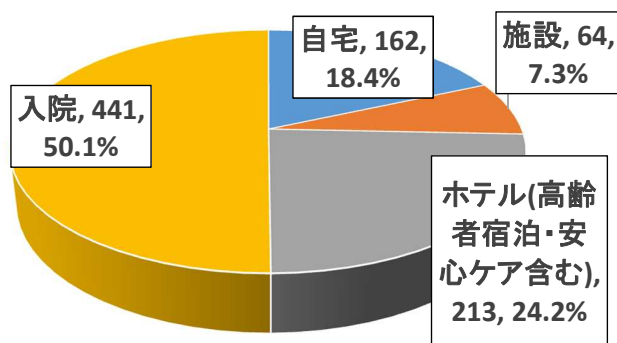


※HER-SYSデータより集計

第8波では、第7波に比べて主に60代、70代、80代、90歳以上の割合が増加した。また、10歳未満の割合が4.9%減少した。

### 3. 保健所からCOVID-19災害コントロールセンターに療養先調整を依頼した方の調整結果 累計766人

(R4年10月1日~R5年1月31日)

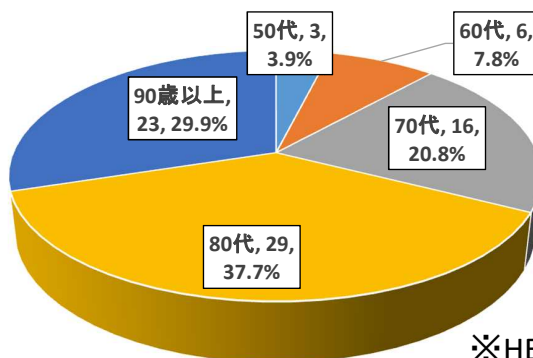


第7波の調整結果の割合は、自宅:39.1%、施設:7.1%であった。第8波では、発生届対象者のみの調整のため単純比較できないが、調整できず自宅療養になる割合は減少した。

※HER-SYSデータより集計

### 4. 死亡の状況 累計77人 (R4年10月1日~R5年1月31日)

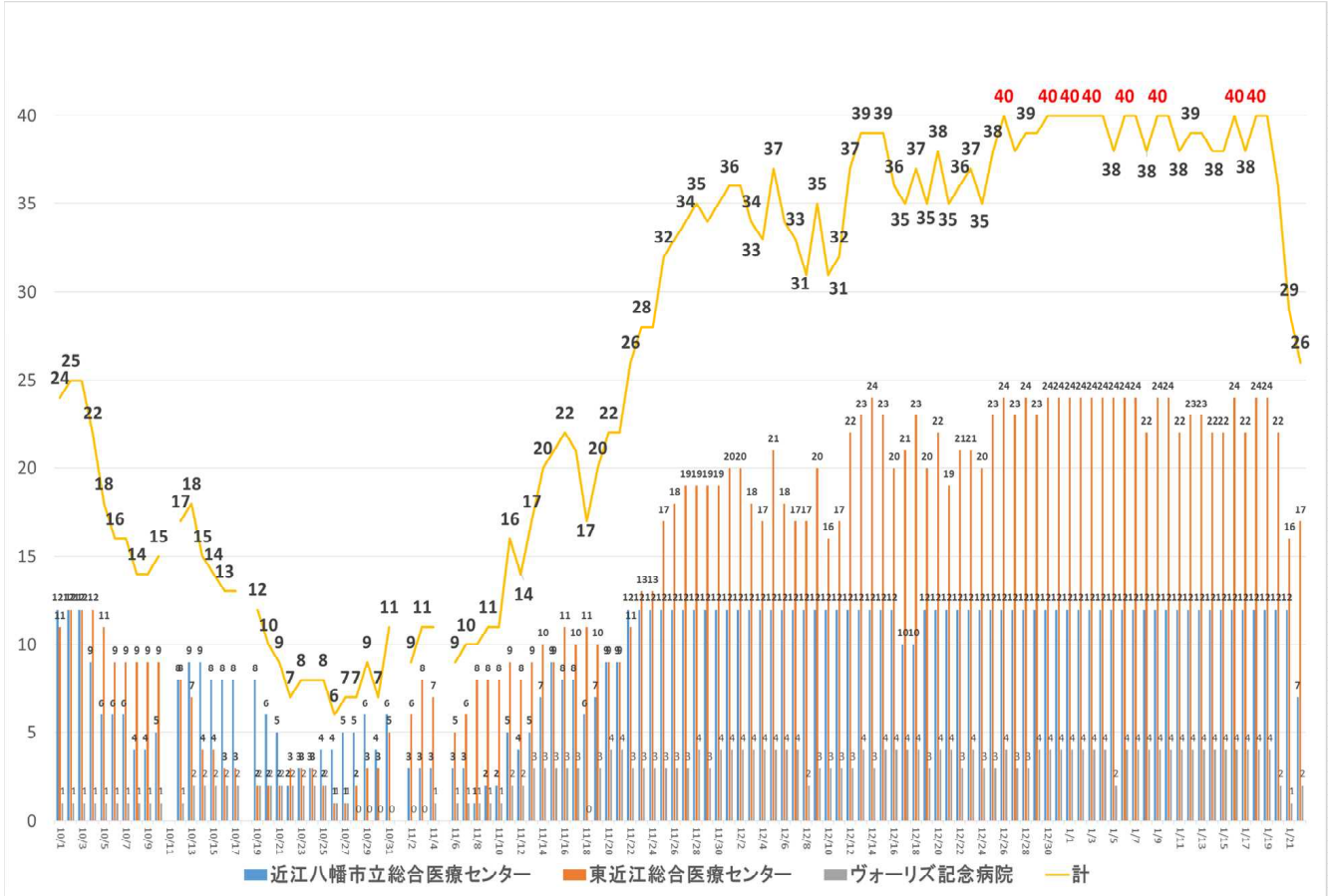
年代	人数
50代	3
60代	6
70代	16
80代	29
90歳以上	23
合計	77



50歳未満の死亡者はおらず、80代、90歳以上での死亡者が多かった。第7波に比べて20人以上死亡者数が増加している。

※HER-SYSデータより集計

## 5. 管内の入院患者数推移 (第8波 R4.10.1~R5.1.21)



出典: 滋賀県COVID19-災害コントロールセンター通信

## 6. 管内医療機関と県全体の病床使用率の推移

(第8波R4.10.1~R5.1.21)



出典: 滋賀県COVID19-災害コントロールセンター通信

## 7. 管内の施設、病院のコロナクラスター対応状況

R4.10月1日～R5.1月31日

### <施設>

施設種類別(R4.10/1以降)		件数		人数	
高齢	特別養護老人ホーム	44	9	667	262
	老人保健施設		3		33
	グループホーム		11		98
	サービス付高齢者住宅		2		14
	ケアハウス		1		14
	ショートステイ		3		21
	養護老人ホーム		1		87
	小規模多機能型		2		16
	デイサービス		12		108
障がい	(障害)グループホーム	7	4	94	72
	障害者生活ホーム		1		7
	障害者作業所		1		8
	放課後デイサービス		1		7
その他	救護施設	1	1	5	5
合計		52	752		

### <病院>

病院	人数 (入院患者)
A病院	229
B病院	160
C病院	116
D病院	77
E病院	51
F病院	33
G病院	22
H病院	20
I病院	14
J病院	8
K病院	5
合計	735

第8波では第7波に比べて施設・医療機関ともクラスターの人数(規模)が増加している。特に医療機関では、複数の病棟でクラスターが起こり、収束まで時間を要した病院があった。

※施設: 施設調査記録より集計、病院: HER-SYSデータより集計

## 8. 東近江保健所管内における第8波(令和4年度後期)の状況

### 1) 受診が困難な人が減少した。

保健所の受診に関する相談、受診調整が大幅に減少した。年末・年始の長期休み期間も、診察してもらえる医療機関が確保ができ、受診で困ったケースが減少した。

### 2) コロナ治療薬を処方してもらえるケースが増加した。

HER-SYSや疫学調査の記録で、632人以上のコロナ治療薬の処方が確認できた。

### 3) 管内に高齢者宿泊施設ができ、宿泊療養できる人が増えた。

令和4年12月に管内のヴォーリズ記念病院に高齢者宿泊施設ができ、受け入れ可能な要介護高齢者が増えた。自宅療養者の減少につながった可能性がある。

### 4) 自施設でクラスター対応ができる施設が増加した。

以前に感染(クラスター)を経験している施設が増え、施設指導等なくても自施設で対応できるところが増えた。

### 5) ケアマネジャーと連絡を取ったケースが増加した。

HER-SYSや疫学調査の記録で512人以上保健所よりケアマネに連絡をして、療養期間や調査内容の報告を行い連携が取れた。

### 6) 自宅療養が継続できるケースが増加した。

コロナで自宅療養中に訪問看護や訪問介護を実施してくれる事業所が増えた。

※訪問介護事業所 コロナ感染後も訪問継続8事業所(18%)、介護者がいない場合訪問継続16事業所(36%)

※コロナ禍における訪問介護・(障害)居宅介護事業に関する実態調査結果

## 9. 東近江保健所管内における第8波(令和4年度後期)の課題

### 1) クラスターの1件あたりの規模が大きくなった。

特に病院でのクラスターが増加し、複数の病棟でクラスターになった病院もあった。

### 2) 入院調整しても入院できない人がいた。

第7波と比較すると調整できた割合は増加した。しかし、第8波のピーク時は、管内のコロナ病床は満床となり、中等症等で入院が必要と医療機関や保健所が判断しても入院できない人がいた。また、施設の人には施設で感染した人は調整しても施設で、療養継続となる割合が高く第7波からの改善はみられなかった。

### 3) 死亡者が増加した。

第7波より死亡者が増加した。年代別内訳では、高齢者の死亡が多く、高齢者は療養解除後に死亡するケースもあった。第8波では、50歳未満の死亡者はいなかった。

### 4) 発生届の対象ではない人の調整の難しさがあった。

65歳未満の人は、発生届が無い人は、保健所に情報がないため、状態が悪化した時の調整の難しさがあった。また、施設のクラスターの全体像の把握が難しくなった。

---

## 10. 令和5年度以降新型コロナウイルス感染症の対応について①

1) 令和5年4月1日～5月7日 現行通りの対応が継続。

2) 令和5年5月8日～

### (1) 患者等への対応

感染症に基づく入院等の措置は終了。外来・入院の自己負担分の公費支援は段階的に移行

### (2) 医療提供体制

幅広い医療機関で新型コロナウイルス感染症患者が受診できるように移行。発熱患者の受診体制や重症者に対する入院調整といった仕組み、高齢者施設等への検査・医療支援は一定期間継続。

### (3) サーベイランス

患者ごとの届け出は終了し、定点サーベイランスに移行する。新たな変異株等の発生を引き続き監視するため、ゲノムサーベイランスは継続する方向。

## 10. 令和5年度以降新型コロナウイルス感染症の 対応について②

○令和5年5月8日～

### (4) 基本的な感染対策

マスクについては、行政が一律に適用すべきルールとして求めるのではなく、個人の主体的な選択を尊重。

子どもの健やかな発育・発達の妨げにならないよう配慮が必要。

ハイリスク者を守るため、医療機関や高齢者施設でのクラスター防止対策は継続しつつ、できる限り面会の希望が実現できるよう取り組みをお願いしていく。

### (5) ワクチン

予防接種法に基づき継続して実施。引き続き自己負担は無く受けられる方向。4月以降、ワクチン接種をどのように行うかは現在検討中。

### (6) 水際措置

5類感染症に位置づけられることに伴い、検疫法上の「検疫感染症」から外れる。

---

## 10. 令和5年度以降新型コロナウイルス感染症の 対応について③

○令和5年5月8日～

### (7) 特措法に基づく措置の終了

5類感染症に位置づけられることに伴い、特措法に基づき実施している住民及び事業者等への感染対策に関する協力要請等の各種措置は終了。

都道府県知事が住民に対して、感染に不安を感じる場合に検査受ける旨の協力要請を行った場合に実施している一般検査事業は終了。

特措法に基づき設置された臨時の医療施設の取り扱いについては今後検討。

### (8) 本部、方針等の廃止

新型コロナウイルス感染症対策本部、都道府県対策本部は廃止。

新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針(令和3年11月19日新型コロナウイルス感染症対策本部決定)は廃止。